

PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY (Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference PCT-02-03749	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below
International application No. PCT/JP2004/017679	International filing date (<i>day/month/year</i>) 29 November 2004 (29.11.2004)	Priority date (<i>day/month/year</i>) 01 December 2003 (01.12.2003)
International Patent Classification (8th edition unless older edition indicated) See relevant information in Form PCT/ISA/237		
Applicant NISSAN MOTOR CO., LTD.		

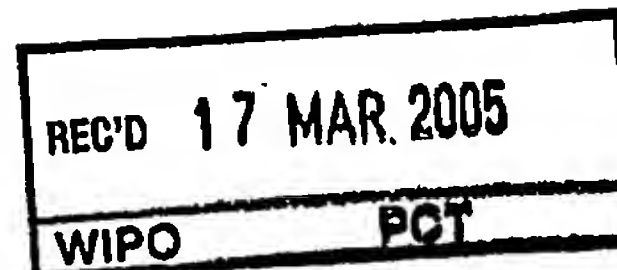
1.	This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 <i>bis</i> .1(a).																								
2.	<p>This REPORT consists of a total of 8 sheets, including this cover sheet.</p> <p>In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.</p>																								
3.	<p>This report contains indications relating to the following items:</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td style="width: 30%;">Box No. I</td> <td style="width: 60%;">Basis of the report</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>Box No. II</td> <td>Priority</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>Box No. III</td> <td>Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>Box No. IV</td> <td>Lack of unity of invention</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>Box No. V</td> <td>Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>Box No. VI</td> <td>Certain documents cited</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td>Box No. VII</td> <td>Certain defects in the international application</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>Box No. VIII</td> <td>Certain observations on the international application</td> </tr> </table>	<input checked="" type="checkbox"/>	Box No. I	Basis of the report	<input checked="" type="checkbox"/>	Box No. II	Priority	<input checked="" type="checkbox"/>	Box No. III	Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability	<input type="checkbox"/>	Box No. IV	Lack of unity of invention	<input checked="" type="checkbox"/>	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement	<input type="checkbox"/>	Box No. VI	Certain documents cited	<input type="checkbox"/>	Box No. VII	Certain defects in the international application	<input checked="" type="checkbox"/>	Box No. VIII	Certain observations on the international application
<input checked="" type="checkbox"/>	Box No. I	Basis of the report																							
<input checked="" type="checkbox"/>	Box No. II	Priority																							
<input checked="" type="checkbox"/>	Box No. III	Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability																							
<input type="checkbox"/>	Box No. IV	Lack of unity of invention																							
<input checked="" type="checkbox"/>	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement																							
<input type="checkbox"/>	Box No. VI	Certain documents cited																							
<input type="checkbox"/>	Box No. VII	Certain defects in the international application																							
<input checked="" type="checkbox"/>	Box No. VIII	Certain observations on the international application																							
4.	The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis .2).																								

The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland Facsimile No. +41 22 740 14 35	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">Date of issuance of this report 07 June 2006 (07.06.2006)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">Authorized officer</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">Masashi Honda</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding-top: 5px;">Telephone No. +41 22 338 70 10</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	Date of issuance of this report 07 June 2006 (07.06.2006)	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">Authorized officer</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">Masashi Honda</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding-top: 5px;">Telephone No. +41 22 338 70 10</td> </tr> </table>	Authorized officer	Masashi Honda	Telephone No. +41 22 338 70 10	
Date of issuance of this report 07 June 2006 (07.06.2006)							
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">Authorized officer</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">Masashi Honda</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding-top: 5px;">Telephone No. +41 22 338 70 10</td> </tr> </table>	Authorized officer	Masashi Honda	Telephone No. +41 22 338 70 10				
Authorized officer	Masashi Honda						
Telephone No. +41 22 338 70 10							

特許協力条約

発信人 日本国特許庁（国際調査機関）

出願人代理人 綾田 正道 あて名 〒 212-0014 日本国 神奈川県川崎市幸区大宮町22-2 ロイヤルシャトー川崎203号	様
---	---



PCT
国際調査機関の見解書
(法施行規則第40条の2)
[PCT規則43の2.1]

発送日
(日.月.年)

15. 3. 2005

出願人又は代理人
の登録記号

PCT-02-03749

今後の手続きについては、下記2を参照すること。

国際出願番号

PCT/JP2004/017679

国際出願日

(日.月.年) 29. 11. 2004

優先日

(日.月.年) 01. 12. 2003

国際特許分類 (IPC)

Int. Cl.

B60T8/00

出願人 (氏名又は名称)

日産自動車株式会社

1. この見解書は次の内容を含む。

☒ 第I欄 見解の基礎☒ 第II欄 優先権☒ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成☐ 第IV欄 発明の単一性の欠如☒ 第V欄 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明☐ 第VI欄 ある種の引用文献☐ 第VII欄 国際出願の不備☒ 第VIII欄 国際出願に対する意見

2. 今後の手続き

国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。

この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。

さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。

3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解書を作成した日

24. 02. 2005

名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

戸田 耕太郎

3W

9329

電話番号 03-3581-1101 内線 3368

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2004年1月)

第 I 欄 見解の基礎

1. この見解書は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。

- ☐ この見解書は、_____ 語による翻訳文を基礎として作成した。
それは国際調査のために提出された PCT 規則 12.3 及び 23.1(b) にいう翻訳文の言語である。

2. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、以下に基づき見解書を作成した。

- a. タイプ ☐ 配列表
☐ 配列表に関連するテーブル
- b. フォーマット ☐ 書面
☐ コンピュータ読み取り可能な形式

- c. 提出時期 ☐ 出願時の国際出願に含まれる
☐ この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された
☐ 出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された

3. ☐ さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。

4. 補足意見：

第Ⅱ欄 優先権

1. ☐ 次の書類が提出されていない。

☐ 優先権の主張の基礎となる先の出願の写し（PCT規則43の2.1及び66.7(a)）

☐ 優先権の主張の基礎となる先の出願の翻訳文（PCT規則43の2.1及び66.7(b)）

したがって、優先権の主張が有効であると認めることはできないが、それでも、出願人の主張する優先日が基準日であると仮定してこの見解書を作成した。

2. ☐ この見解書は、優先権の主張が無効であると認められるので、優先権の主張がされなかったものとして作成した（PCT規則43の2.1及び64.1）。したがって、この見解書においては、上記国際出願日を基準日とする。

3. 追加の意見（必要ならば）

請求の範囲（特に上位の請求の範囲）に記載のものが、優先権の主張の基礎となる先の出願書類に明記された事項から直接的かつ一義的に導き出せたものかどうか疑義有り。いずれの箇所から導き出せたのか釈明を求める。

第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成

1. 次に関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により審査しない。

☐ 国際出願全体

☒ 請求の範囲 4-13, 15-17

理由:

☐ この国際出願又は請求の範囲 は、国際予備審査をすることを要しない次の事項を内容としている（具体的に記載すること）。

☒ 明細書、請求の範囲若しくは図面（次に示す部分）又は請求の範囲 4-13, 15-17 の記載が、不明確であるため、見解を示すことができない（具体的に記載すること）。

第Ⅷ欄参照。

☒ 全部の請求の範囲又は請求の範囲 4-6, 15-17 が、明細書による十分な裏付けを欠くため、見解を示すことができない。

☒ 請求の範囲 4-13, 15-17 について、国際調査報告が作成されていない。

☐ヌクレオチド又はアミノ酸の配列表が、実施細則の附属書C（塩基配列又はアミノ酸配列を含む明細書等の作成のためのガイドライン）に定める基準を、次の点で満たしていない。

書面による配列表が

☐ 提出されていない。

☐ 所定の基準を満たしていない。

コンピュータ読み取り可能な形式による配列表が

☐ 提出されていない。

☐ 所定の基準を満たしていない。

☐ コンピュータ読み取り可能な形式によるヌクレオチド又はアミノ酸の配列表に関連するテーブルが、実施細則の附属書Cの2に定める技術的な要件を、次の点で満たしていない。

☐ 提出されていない。

☐ 所定の技術的な要件を満たしていない。

☐ 詳細については補充欄を参照すること。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲		有 無
	請求の範囲	1-3, 14	
進歩性 (IS)	請求の範囲		有 無
	請求の範囲	1-3, 14	
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1-3, 14	有 無
	請求の範囲		

2. 文献及び説明

文献1: JP 1-212655 A (いすゞ自動車株式会社) 1989. 08. 25 (ファミリーなし)

請求の範囲1-3, 14は、国際調査報告で引用された文献1に記載されているので、新規性・進歩性を有しない。

第Ⅷ欄 国際出願に対する意見

請求の範囲、明細書及び図面の明瞭性又は請求の範囲の明細書による十分な裏付けについての意見を次に示す。

1. 請求の範囲 1－6, 14－17 について、明細書及び図面により十分な裏付けがなされていない。特に、作用・効果、背景技術、解決しようとする課題との関係、対応が不明。
2. 請求の範囲 3 について、請求の範囲 1 を引用することは不適切（請求の範囲 1 には、「弁手段」は無い。）。
3. 請求の範囲 4 について、請求の範囲 1, 2 を引用することは不適切（請求の範囲 1, 2 には、「制動反力検知手段」は無い。）。
4. 請求の範囲 7 について、請求の範囲 4, 5 を引用することは不適切（請求の範囲 4, 5 には、「回転電機」、「回転電機ケース」は無い。）。
5. 請求項 7 について、「オリフィス」を介しているため、迅速な制動液圧の昇圧が妨げられている。すなわち、急制動が不可能なものとなっており、車両用制動装置として、著しく危険、不適切である。従属請求の範囲も同様。
6. 請求の範囲 7 の「減圧手段は、・・・釣り合うようにホイールシリンダ圧を調圧する」なる記載について、「要求制動トルク」が、「回生制動トルク」と「液圧制動トルク」との和以下であることを前提としている（すなわち、「要求制動トルク」の方が大きい場合に破綻している。）が、そのような前提条件をどのようにして達成しているのか不明。従属請求の範囲も同様。
7. 請求の範囲 8－10 の「・・・釣り合うようにホイールシリンダ圧を調圧する」なる記載は、「要求制動トルク」の方が大きい場合に論理的に破綻しており不明確。
8. 請求の範囲 7－10 について、そもそも「要求制動液圧」、「要求制動トルク」とは何か不明。運転者が「要求」するものであれば、「要求制動トルク」の方が大きい場合もあり得るものと思慮。
9. 請求の範囲 9 について、「第 2 ホイールシリンダ圧室」と「ホイールシリンダ圧室」との関係が不明確。
10. 請求の範囲 9 について、「第 2 作用腕」と「機械系フィードバック機構」との関係が全く不明確。実施例との対応も不明確。
11. 請求の範囲 9, 10 について、「分離状態で配置され」とあるが、請求の範囲 4 の「一体的に設けた」なる事項との対応が不明確。
12. 請求の範囲 10 について、請求の範囲 9 を引用しているが当該請求の範囲との関係が全く不明確。実施例との対応も不明確。
13. 請求の範囲 10 について、「第 3 フィードバック機構」と「第 2 フィードバック機構」との関係が不明確。
14. 請求の範囲 14 について、請求の範囲 1, 2 を引用することは不適切（請求の範囲 1, 2 には、「制動反力検知手段」は無い。）。
15. 請求の範囲 15, 16 について、請求の範囲 14 を引用することは不適切（請求の範囲 14, 1, 2 には、「回転電機」は無い。）。
16. 請求の範囲 17 について、「ブレーキキャリパ」なる用語と「キャリパ部材」なる用語との関係が不明確。
17. 段落 [0064] の記載は、他の箇所、特に図面 [図 5] の記載と整合していない（「液圧昇圧ソレノイド 45 a」、「液圧減圧ソレノイド 45 b」について、用語、符号を確認のこと。）。

補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 VII 欄の続き

- 18. 段落 [0085] の記載と図面 [図11] の記載とが整合していない (図11には、符号29が無い。)。
- 19. 段落 [0088] の「始動装置」について、実施例8との関係が不明確。
- 20. 段落 [0096] の「実施例6, 7のように、圧電素子によって」なる記載は、実施例6, 7との対応が不明確 (実施例6, 7には、「圧電素子」は無い。)。